

会が主催し町会が後援する「長沢親子運動会」など、活発な事業を展開しています。

このほか、町内の各団体が自主的な活動を展開しています。

一例を紹介しますと、大凧作りから凧揚げをしている「凧の会」、「カラオケ愛好会」が毎年開催している演芸大会などユニークな活動に町会員の皆さんを取り組まれ、会員相互の融和とふれあいの場を作っています。

今後の事業の取り組みにつきましては、新たな会員の加入促進が大きな課題となっています。良き伝統を残しながらも、時代に合った町会の基盤づくりを進め、

武蔵野台一丁目町会 青木 健
けて、微力ながら努力をしてまいります。

当町会は、昭和50年2月5日に先人達のご苦労の末に誕生し、今年で32年目を迎えることとなりました。

場所は、福生市の最東北部に位置し、南北に長く、よく区画の整理された住み心地のよい地域と自負しております。

南側に八高線の東福生駅、地域体育館、児童館を有し、北側に工業団地を配し、行政世帯数は1,500余、町会加入世帯数は600余の若く大きな町会です。

春には、駅前や公園の植栽、交通安全運動の推進、夏には、老若男女あげての夏祭り、秋には、

子ども会、老人会の皆さんと協力して行う大運動会と防災訓練、冬には、ボーリング大会、町会日帰りバス旅行など、数多くの行事を皆さんと協力して行っています。

「町会を通じて、互いに語り、一緒に協力し合い、行事を完成させて喜びを分かち合う」先人の考えを継承し、これからも活動を続けたいと思います。

町会・自治会は、地域に住む人々が親睦や交流を深めるこ

とによって連帯を培い、お互い助け合いながら、よりよい地域づくりや、住みごこちのよいまちづくりのために、自主的に組織された団体です。

現在、市内には34の町会・自治会があり、

お読みいただき有難うござい

ます。

福生二小の入学式に招かれました。昨年より10名減少、70名で2クラスとなり、少子化を感じます。

子どもさんの登下校の安全を願い、まだ一方通行ですが、挨拶をしています。地域の皆さんで、子どもさんたちの見守りをお願いしたいと思います。

編集委員長 編集委員 小村 金子 末次 光一 石内 森井 和夫 章弘 常貴

近所で 手を取りあって 助け合い

町会・自治会に 参加しましよう

編集後記



町内の大勢の皆さん方が町会に入したいと思うような町会に向

